



ラグビーワールドカップ2019™で福岡をもっと元気に

特集2

スクラムを組んで インバウンドにトライ!



第1回 日本のインバウンド潜在力

ラグビーワールドカップ2019™日本大会の開催まで、あとわずか。ここ数年、福岡県はすでに多くの外国人旅行者（インバウンド）で賑わっています。

本大会は潜在的なインバウンド需要の掘り起こしにつながる、**事業者や福岡にとって「商い」の絶好のチャンス**です。なぜ商機なのか、観戦旅行者の「お財布」をつかむための準備について、今月から3回にわたってお伝えします。

■欧米からの訪日旅行者の現状

約13億人—これは2017年の全世界の旅行者数です。そのうち約6億3千万人（約48%）がヨーロッパ在住の方々です。一方で、同じ年にヨーロッパから日本へ訪れた旅行者数は152万人。割合にして0.2%。（図-1）あくまで統計上の数値ですが、ヨーロッパの方がもっとたくさん日本に旅行に来てもらえる可能性は大いにあります。

■なぜラグビーワールドカップが絶好のチャンスなのか

ラグビーワールドカップ2019™日本大会に出場する国は20カ国。うち、アジアからは日本だけ。残り19カ国は欧米豪とアフリカからの出場です。（図-2）

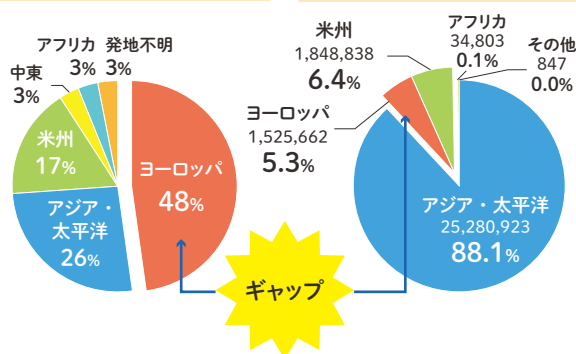
ラグビーの観戦に訪れる約40万人。そのほとんどが欧米豪からの旅行者となることが予想されます。また、今後も2020年の東京オリンピック・パラリンピックや国

（図-1）

世界と比較して見える相違点

世界の地域別海外旅行者比率 ※1

日本への地域別旅行者比率 ※2



※1 出典：国連世界観光機関（UNWTO）Tourism Highlights 2018 Edition
 ※2 出典：日本政府観光局（JNTO）2017年訪日外国人旅行者数を元に筆者作成

CHECK

ヨーロッパからの旅行者の潜在需要はまだまだある

※アジア域内への到着数は3.24億人 日本へのシェア9%！

（図-2）

RWC出場国は、消費意欲の高い欧米豪が中心

一方で、現在の訪日旅行の主流である
アジアからの出場国はゼロ！



★印は、福岡で試合が開催される国です。

際的事件が日本各地で開催されます。(表-1) **これを機に日本を訪れる欧米豪の旅行者は確実に増えます。**大会期間中はもちろん、今後国際的事件のたびに世界中から日本や福岡への関心が高まります。今回の大会は、**欧米やまだ日本をよく知らない国の人々に、日本や福岡を印象付ける絶好の機会**なのです。

(表-1)

開催年	日本各地で開催される国際的事件
2019	RWC(全国)、女子ハンドボール(熊本)
2020	東京オリンピック・パラリンピック(関東)
2021	世界水泳(福岡)、ワールドマスターゲームス(関西)
2022	
2023	バスケットボールワールドカップ予選(沖縄)
2024	
2025	万国博覧会(大阪)

■欧米豪からの旅行者の特徴

今回のラグビーワールドカップは、試合と試合の間隔が3~7日間と長く、予選を終えるまで約1カ月かかります。その間、海外からの熱心なファンは自国の試合応援のために、試合開催地を転々と移動。**行く先々で、名所旧跡への観光や、郷土料理、旅館での滞在を楽しむはず**です。しかも、欧米豪の旅行者は、旅行中の消費額が高いという調査結果も出ています。(表-2) ぜひ、このチャ

(表-2)

	今の主流旅行者	RWC観戦旅行者
地 域	アジアから	欧米豪から
主な言語	中国語・韓国語	英語
滞在期間	6日間以内が6割	平均14日間※3
消費単価	153千円※4	354千円※5
うち買物割合	38.1%※4	11.5%※5

欧米豪の観戦旅行者の主な特徴は

- 試合の合間には国内周遊
- SNSによる発信
- 日用品、生活必需品は買わない
- 伝統・文化・歴史に触れる
- お酒を飲みたがる
- バラエティに富んだ旅行
- 開催地以外にもチャンス
- PRのチャンス
- 本物志向
- 伝統文化、受入整備
- 飲食店の対応
- 高級旅館からキャンプまで

従来とは異なる準備対応で消費向上を!

CHECK

従来のアジアからの訪日旅行者向けの対応とは違う工夫と準備が必要

※3 出典: The economic impact of Rugby World Cup 2015 Post event study

※4 出典: 観光庁 訪日外国人消費動向調査結果及び分析

※5 The economic impact of Rugby World Cup 2015 Post event studyの数値に1ポンド147.5円を掛け算出

目次

- 第1回 「日本のインバウンド潜在力」(5月号掲載)
- 第2回 「インバウンドの変化に対応し、工夫と準備で新たな消費をつかむ」(6月号掲載予定)
- 第3回 「インバウンド受入に欠かせないキャッシュレス化の実現」(7月号掲載予定)

ンスを逃さないように、そして、遠方からの旅人を歓迎してほしいと思います。現在は「スマートフォン」と一緒に旅行する時代。「おいしい、たのしい」「うれしい、よかった」として感動はSNSを通じてすぐ、友人へ共有されます。皆さんのおもてなしは、必ず次のお客様につながります。

欧米豪からの旅行者を一言でいうと「旅のベテラン」です。また、古き良き伝統文化や祭事、その土地ならではの料理や工芸品に興味関心が高い、いわば「地方のファン」でもあります。いま福岡に多く訪れているアジアからのお客様とは、旅行スタイルや金の使い方が異なります。そのためおもてなしには、少々の工夫と準備が必要です。でも難しいことはありません。いままで外国人旅行者に取り組んでこなかった事業者の方にも対応しやすいお客様でもあります。**今回は、その欧米豪からの訪日旅行者に向けた「傾向と対策」についてお伝えしたいと思います。**



福岡会場の試合日程(東平尾公園博多の森球技場)

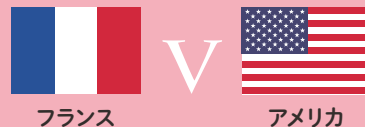
●2019年9月26日(木) 16:45



イタリア

カナダ

●2019年10月2日(水) 16:45



フランス

アメリカ

●2019年10月12日(土) 19:45



アイルランド

サモア

チケット先着販売 2019年5月18日(土)より開始



遊佐 知広

(一社) ジャパンショッピングツーリズム協会
地域・連携事業担当部長
株式会社 J&J 事業創造 開発本部 マネージャー

東京都出身。旅行会社入社後、法人営業と新規事業開発に従事。年100日を超える海外出張の経験を活かし、事業開発部門で、外国為替や体験メディア等の新規事業を担当。2014年よりジャパンショッピングツーリズム協会に参画。事業企画、プロモーション、Web・SNS 担務を歴任。また、全国各地での商店街や農業関係者向けのセミナーや事業支援も行っている。